

令和4年第18回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日

令和4年12月20日（火）

II 会議時間

開会時間：14時00分

閉会時間：15時00分

III 出席委員

教育長 妹尾 均

教育長職代理者 太宰 実千代

委員 加藤 正枝

委員 三宅 英次

IV 欠席委員

委員 二宮 崇

V 説明のため出席した職員

教育次長 小崎 隆

教育総務課長 山内 祐樹

就学前教育課長 渡邊 まり子

学校教育課長 的場 佳代

社会教育課長 寶藏 光辰

（書記）清山 智保

VI 会議内容

1 開 会

2 前回会議録の承認

（1）令和4年第17回教育委員会会議（令和4年11月15日）の議決事項等について

教育長の報告：なし

議 事：議案第45号令和4年度12月補正予算案（教育委員会関係分）について
他2件

協 議：令和3年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書（第3稿）につ
いて

報 告：玉野市史編さんの進捗状況について

（承認）

3 教育長の報告

(1) 鉾立小学校の今後の方向性について

(妹尾教育長) 昨日、12月議会が閉会した。鉾立小学校の木造校舎の対応策について今回の総務文教委員会協議会の中で報告した。簡易なプレハブ棟を建設し、普通教室を中心に配置し、特別教室棟を改修し、職員室・校長室等を配置する案を提示した。できるだけ早く児童の安全を確保すること、費用面を考慮し、この案を提示した。反対意見としては、市内の他の学校と同じようにお金をかけてしっかりしたものを建設してもらいたいというものがあった。一方で賛成意見としては、安全が確保できるのであれば、このまま進めてほしいということであった。最終的に再検討をということとなり、再度案を提示するように求められた。

4 議 事 なし

5 協 議 なし

6 報 告

(1) 適正規模・適正配置検討委員会第2回会議について

(教育総務課長) 資料により説明

(三宅委員) アンケートの自由記述欄の内容が是非知りたい。回答によっては、無回答が多いものがある。細かい分析や集計ができれば報告してもらいたい。

(教育総務課長) 自由記述が膨大な量になるため、ある程度の分類を行ってから次の検討委員会で提示したいと思っている。無回答については、理由はわからないが、どういった人が無回答なのか分析できる範囲で確認したいと思う。

(2) 令和5年度 始業日等について

(学校教育課長) 資料により説明

今年度の卒業式・卒園式についても、昨年度同様、来賓なしで実施する。

(3) 令和5年度 幼稚園・保育園・認定こども園の入園申込状況について

(就学前教育課長) 資料により説明

- (加藤委員) 宇野幼稚園、荘内南幼稚園のこの状況について何か手立てを考えていくとかの動きはないのか。適正な数からあまりにもかけ離れている。幼稚園の統合については、もっと教育委員会主導でやっていけないものではないか。
- (就学前教育課長) 宇野幼稚園も荘内南幼稚園もかなり深刻な状況になっている。幼保一体化等将来計画では、宇野幼稚園は、宇野保育園、玉認定こども園の3園を統合することになっており、それらの園をどうしていくか考えていく必要がある。荘内南幼稚園は、荘内幼稚園と統合することになっており、早い段階での統合を進めていきたいと考えている。スケジュール等については、事務局内で検討を進めながら、教育委員にも共有する。
- (加藤委員) 保育園についても小規模となっている。保育園として成り立つ人数ではない。ちどりに関しては200人、300人規模で子どもを保育することができている。ちどりがこれだけ集まるのに対して、市立保育園がこれだけ少ないのは、何が原因なのか。求められているものは何なのか。統合を考えていると言うが、統合の期日が全く見えない。ある程度のタイムラインを確定して前に進んでいく必要があるのではないか。最終的には今の小・中学校と同じように、保護者や地域の理解が得られないというような状況になるのではないのか。税金を無駄に使われることに疑問を感じる。手厚いとか手厚くないという保護者の気持ちを大切にしているのではなく、それを理由にしているだけのように感じる。本当に子どものことを考えるのであれば、こんな人数でいいわけではない。充実した教育保育を行うのであれば、それなりの子どもの数と先生の数が必要である。私たちにも先が見通せるような回答が欲しい。
- (就学前教育課長) 幼保一体化将来計画に関しては、スケジュールが明記されていないということを、様々な人から指摘されている。統合か継続かについては、担当課だけでは決めかねることもあるので、関係課と協議しながら考えていきたい。昨年度は、改正版を策定した後、鉾立認定こども園をサンマリン認定こども園と統合を行った。今年度は、和田幼稚園を休園という形ではあるが、日比幼稚園と統合するように進めることができた。ご意見等をしっかり伺いながら、今後も望ましい教育保育が行えるように進めていきたい。スケジュールを検討するためには、土地の問題や民間活力の導入などを踏まえて進めていく必要があるので、時間がかかって申し訳ないが様々な事情があるため理解いただきたい。
- (加藤委員) いろいろなところと話し合うのは、以前からそうだったはずである。何も変わっていない。鉾立認定こども園や和田幼稚園は、既に時遅しの状態である。全く我々に見えない水面下の交渉では何をどう進めているのかわからない。どこからも何も意見を言われていな

いから、この状態が長く続いているのだと思う。幼稚園や保育園の統合を進めていけば、小学校や中学校もそれに伴い、一定規模が必要だとわかってくれるのではないか。私には熟考しているというより、ダラダラしているようにしか見えない。スピード感を持って進めてほしい。玉野の子どもが少なくなっているということは、玉野の教育保育に魅力がないということの現れであると思っている。もっと就学前教育課や学校教育課は市民の思いを受け止めていかなくてはいけないと思う。

(妹尾教育長) まさにこれから進めていかなければならない部分である。教育委員会全員で頑張っていきたいと思う。

7 その他

(1) 令和5年年間スケジュールについて

(教育総務課長) 資料により説明

(2) 令和5年1月／2月 月間行事予定について

(教育総務課長) 資料により説明

(3) 不適切な保育について

(太宰委員) 不適切な保育について様々な報道がなされているが、玉野市ではそういうことはないと思っているが、このような報道があった後、玉野市として対策を講じたり、注意喚起を行ったりしたのか。

(就学前教育課長) 国からも虐待防止に関する文書が発出されており、私立も含めて各園に対して通知を送付している。また、園長会において今回の報道されている事案を受けて、玉野市では絶対このようなことがないように職員に徹底するように改めて話を行った。12月中に虐待防止関係の研修が実施されるので、各園から数名参加して講習を受ける予定となっている。来年も不適切保育に関する防止策の研修・講習が実施される予定であるので、それにも参加する予定となっている。

(太宰委員) 玉野市ではこのような不適切な保育は今までなかったということでよい。

(就学前教育課長) そのような報告は受けていない。

(太宰委員) 何か起こったときに、穏便に済ませようとかなかったことにしようとする風潮があるが、そういうことが絶対ないように、報告すべきことはきちんと園から報告してもらって、みんなで情報共有して、同じことが起きないように周知徹底してもらいたい。

(4) 学校給食の黙食について

- (太宰委員) 11月末に学校給食では黙食を求めないという文科省の方針が出されており、既に学校に通達されていると思うが、子どもたちの様子、反応や、現場の状況はどうか。
- (学校教育課長) 通知では、給食時の会話では、距離を保っていること、大声の会話を控えるということに注意するというものである。県からの通知によると、食事中の状況によっては、感染者が出た場合は、濃厚接触者となりうる場合があるというような内容であった。これまで、「黙食」という一言で指導していたが、状況に応じて安全性の確認をした上で対応するように各校へ伝えている。通知文だけではわかりにくい部分もあるため、自主校長会でも確認し、理解してもらっている。距離を保つという部分は非常に難しいところではあるが、少しずつ緩和しながら安全で楽しい学校給食になるように指導して進めているところである。

(5) 学校給食費について

- (太宰委員) 来年度の給食費に対する市の補助が30円になるということが新聞に掲載されていた。来年度の給食費について値上げも含めて検討していかねばならないという話は聞いたと思うが、具体的に30円値上げするということは教育委員会で報告を受けていたか。
- (学校教育課長) 給食費の値上げそのものについては決定していない。コロナ交付金で、食材費の高騰分を1食30円ずつ国から補助してもらって何とか対応している。今後の給食費を考えたときに、値上げをしたら、国の補助を充てている30円分が必要相当額になると考えている。
- (太宰委員) 今年度、国の補助として食材費の補助として50円という説明があったと思うが。
- (学校教育課長) 当初4月、5月の2か月間で試算し、予算額としては1人50円で見えていたが、1学期の状況を見て、最終的には国の補助としては30円になっている。
- (太宰委員) 9月の終わり頃に新聞に掲載されていたと思うが、教職員分も含めて補助を受ける予定が、教職員分が対象外になった。そのときも50円だったように記憶している。
- (学校教育課長) 当初は、教職員分も含めて1人50円ずつの補助を受ける予定であったが、申請手続きを行う中で、教職員分は国の補助の対象にならないことがわかり、その時点で、単価を50円から30円に変更している。
- (太宰委員) 教職員分が国の補助の対象外になったということは説明を受けていないように思う。新聞で知った。いつも報道が先に出ることでのク

（妹尾教育長） レームを何度も言っている。メールでもいいので伝えてほしい。
気を付けていく。

次回、教育委員会定例会は令和5年1月24日（火）14：00から開催するので参集願います。以上で、令和4年第17回教育委員会を閉会します。

会議録調整者 書記 清山 智保

会議録署名委員 教育長 妹尾 均

教育長職務代理者 太宰 実千代